

令和5年7月24日(月) 国登録有形文化財「秋田家住宅」構造調査 その1

概要

「秋田家住宅」の構造及び仕上げ材等を調べ、構造部材の劣化状況や耐震要素の確認を行うことを目的とした調査です。今回は第1回目の調査として、点検のための調査口や足場の準備を行ったほか、離れの構造部材について計測を行いました。

調査箇所の番付

(調査する場所を区分けして番号を割り振る)



離れの部材(柱など)を計測



調査口の用意(天井裏や床下を確認するため)

離れの床下(茶道用の炉をずらして確認)



2階から1階屋根裏を確認する調査口



離れ側から土蔵壁面の確認



左が離れ側、右が土蔵側



土蔵(北側)の床板



二階屋根裏への調査口



店舗兼主屋・畳の間の床下



店外部基礎を確認するために掘削した穴



離れの天井裏で確認されたもの

離れの天井で見つかった電灯昇降機



電灯昇降機内部



離れの主屋側にある部屋の照明器具に取り付けられていた装置。現在は機能していないものの、天井から吊るされた電灯を上下に動かすことが出来たとのこと。

離れの天井にあった幣束



同じく天井に残されていた幣束。調査員によると、離れを建築した際に使われた可能性があるとのこと。